

STAR

取扱説明書・部品表

マニュア標準ボディ

製品コード K30376 · K30377 · K30378
型式 TMB1030 · TMB1530 · TMB1830
部品供給型式 AMF1030-05 AMF1530-05 AMF1830-05

マニュア2P倍角ボディ

製品コード K30379 · K30380 · K30381
型式 TMB1040 · TMB1540 · TMB1840
部品供給型式 AMF1030-05 AMF1530-05 AMF1830-05

マニュアステアリングボディ

製品コード K30383
型式 TMB1550
部品供給型式 AMF1550-05

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



⚠ 安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、⚠ 印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注意

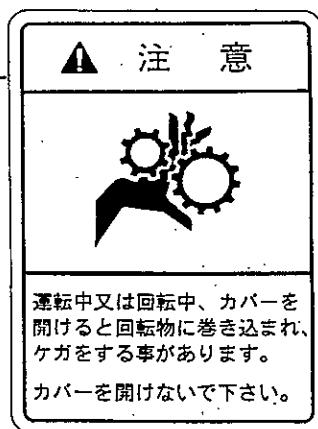
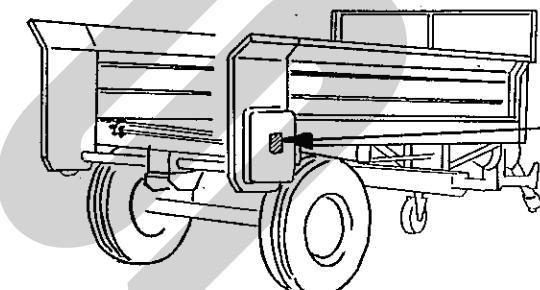
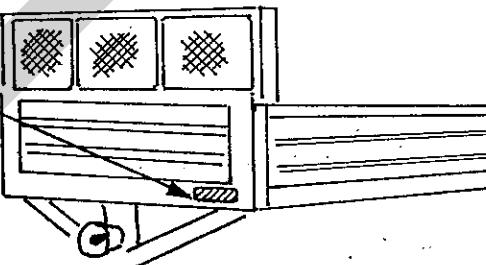
その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

⚠ 注意

本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労や、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外しカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貰うときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでもらうようすすめて下さい。

部品番号 106164



部品番号 106241

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していくため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

帽子を着用する。

はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。

運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」(中立)にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。
主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください

- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になることがあります。窓、戸などを開け、十分に換気してください。
- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをすることがあります。PTOを切ってから始動してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。
- アタッチメントを装着する時、トラクタのエンジンをとめずに行うと、第三者の不注意により、不意にトラクタが動いたりして、事故を起こすことがあります。エンジンをとめて、作業機の車輪に輪止めをして行ってください。

▲注意

- 作業機をトラクタに連結する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずにいると、作業機が暴走して思わぬ事故を起こすことがあります。切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。
- 連結するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねくことがあります。トラクタへパンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをすることがあります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをすることがあります。

PTOを切り、トラクタのエンジンとめて行ってください。

- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをすることがあります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをすることがあります。最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをすることがあります。適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをすることがあります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を連結して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに作業機を連結しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねくことがあります。ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをすることがあります。トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こすことがあります。急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こすことがあります。

作業中は

作業する時は

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定の PTO 回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、思わぬ事故をまねく事があります。
作業機の上には、人をのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。
しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 過積載あるいは片荷積載をすると、旋回時や傾斜地での作業時、作業機が転倒し、ケガをする事があります。指定された積載量あるいは積載高さ以上の積載はしないでください。
ほぼ平坦になるように積載してください。
- 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。
- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTO およびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTO を切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。

低速走行してください。

- 旋回する時、内輪差により周囲の人を作業機に巻き込み、ケガをさせる事があります。周囲の人や障害物との間に十分な間隔を保ってください。

- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。

路肩は走行しないでください。

- 高低差の大きい段差を乗り越えようすると、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをすることがあります。

あゆみ板を使用してください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。

作業機の上には、人をのせないでください。

- 突出部を折りたたまざに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをすることがあります。

折りたたんで移動させてください。

▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。

移動走行する時は、PTO を切ってください。

荷物を積載する時は

▲注意

- 過積載あるいは片荷積載をすると、旋回時や傾斜地での作業時、作業機が転倒し、ケガをする事があります。指定された積載量あるいは積載高さ以上の積載はしないでください。

ほぼ平坦になるように積載してください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検をするときは

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで本機を持ち上げて点検・調整を行うとき、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機を上げた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下しケガをすることがあります。
下に入る時は台などで降下防止をして行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

1

トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	8	4 パワージョイントの装着	10
2 適応トラクタの範囲	9	1. 長さの確認方法	10
3 トラクタへの装着	9	2. 切断方法	11
		3. 安全カバーの脱着方法	11
		4. パワージョイントの連結	11

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	12	2 エンジン始動での点検	13
1 トラクタ各部の点検	12	1. 駆動系統の点検	13
2 連結部の点検	12	3 給油箇所一覧表	13
3 パワージョイントの点検	12		
4 マニュアボディの点検	12		
5 アタッチメントの点検	13		

3 作業の仕方

1 本機の使用目的 14	4 マニュアステアリングボディの調整	
2 アタッチメントについて 14	 14
3 床コンベヤの変速操作 14	5 移動走行 15

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 15	3 長期格納する時 16
2 トラクタからの切り離し 15		

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 17	2 各部の調整 17
-----------	----------	---------	----------

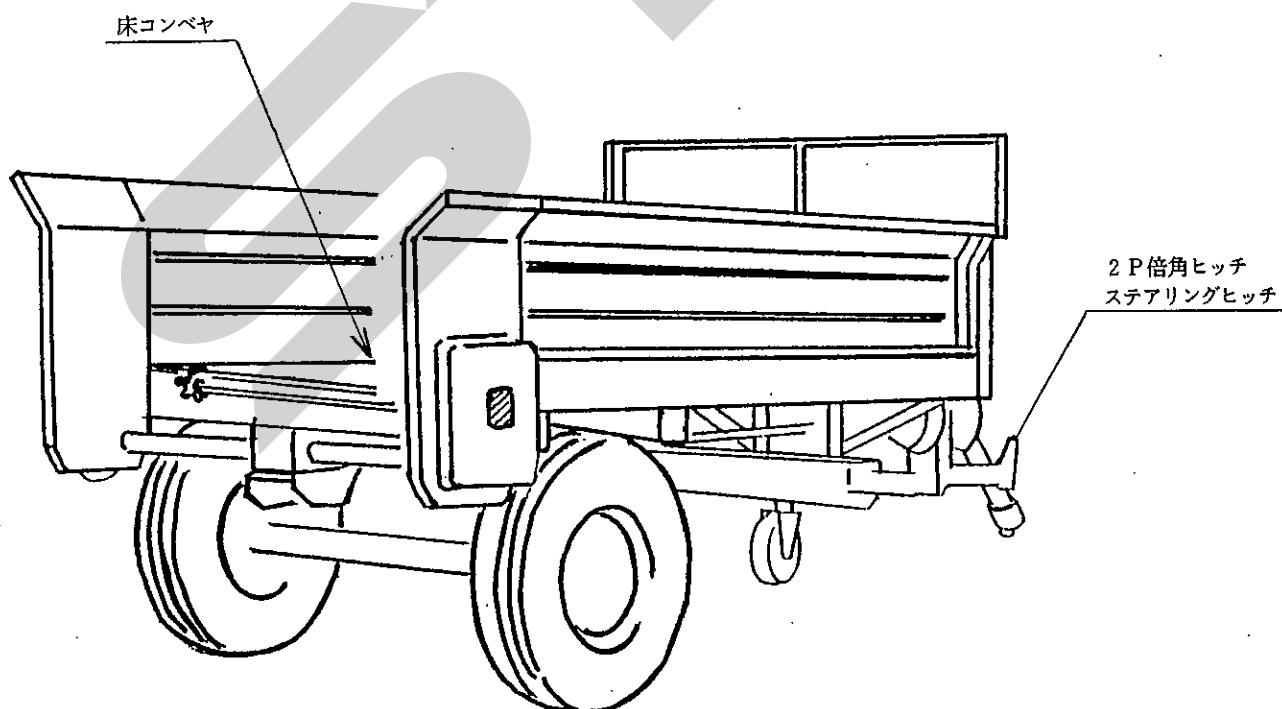
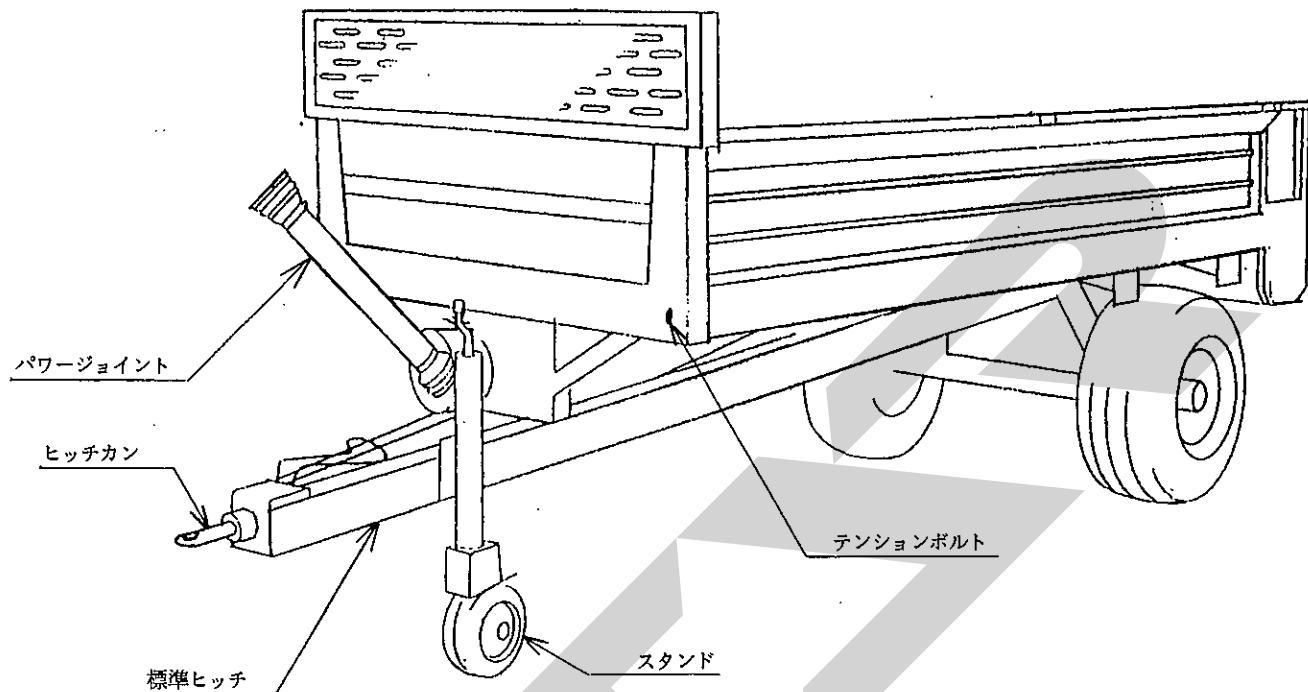
6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 19
-----------	----------

7 部品表

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき



1. 標準ヒッチ

トラクタの固定ヒッチ、スイングドローバに連結して使用します。

2. 2 P倍角ヒッチ・ステアリングヒッチ

トラクタのロワーリングに連結して使用します。

3. ヒッチカン

トラクタのドローバに連結するのに使用します。

4. スタンド

トラクタから切り離す時に使用します。

5. パワージョイント

トラクタPTO軸に接続し、作業機本体へ動力伝達するのに使用します。

6. テンションボルト

このボルトを回わして、チェーンの張りを調整します。

7. 床コンベヤ

荷箱に積載された堆肥をビータ側へ送ります。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼします。

この製品の適応トラクタ馬力と最大積載量は次のとおりです。

型式	最大積載量	適応トラクタ馬力
TMB 1030	1,000kg	15~35PS
TMB 1040		20~40PS
TMB 1530	1,500kg	20~40PS
TMB 1540		25~50PS
TMB 1550	1,800kg	25~50PS
TMB 1830		30~50PS
TMB 1840		

3 トラクタへの装着

▲ 警告

- 作業機を連結するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

1. ドローバへの連結<<標準ヒッチの場合 : TM B1030、1530、1830>>

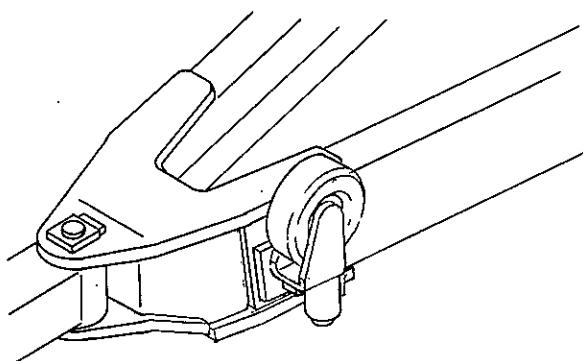
- (1) 作業機のスタンドハンドルを回し、トラクタドローバの連結点の高さに合わせてください。
- (2) トラクタのエンジンを始動し、静かに後退し、ドローバにヒッチカンを入れてください。
- (3) ドローバおよびヒッチカンの連結点の穴を合わせて、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (4) トラクタ付属の連結ピンを通して、リンチピンなどで抜けどめをしてください。
- (5) スタンドハンドルを回し、スタンド車輪が地面から上がったら車輪のピンを抜き、車輪を後方に折りたたんでください。

さらにハンドルを回し、車輪を最縮位置まで上げてください。この時、ブラケットの間にストップを確実に入れてください。

2. ロワーリングへの連結<<2 P倍角ヒッチ、ステアリングヒッチの場合 : TMB1040、1540、1840、1550>>

- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのロワーリング先端部と本機の左右のロワーリングピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめて下さい。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のロワーリング、右のロワーリングの順に連結し、抜けどめにトラクタに付いているリンチピンをロワーリングピンに差してください。
- (3) 左右のロワーリングが同じ高さになるよう、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタのエンジンを始動して、トラクタ3点リンクを上昇する油圧レバーを操作して2Pフレームを上げエンジンをとめてください。
- (5) TMB1040、1540、1840は、スタンドを上げリンチピンで固定してください。

TMB1550はスタンドをはずし、逆向に取付け
リンクピンで固定してください。



TMB1550

4 パワージョイントの装着

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、
ジョイントの突き上げが起きることがあり、
ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。

1. 長さの確認方法

(1) 標準ヒッチの場合：TMB1030、1530、1830

- ① 作業機をけん引しながら前進し、トラクタと作業機がほぼ一直線になった状態で停止してください。
- ② パワージョイント単体で最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- ③ パワージョイント（アウタ）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- ④ ピン付ヨークのクランプピンを押して、パワージョイントのインナとアウタを、PTO軸、P I C軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- ⑤ 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウタ）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。
- ⑥ PTO軸およびP I C軸からパワージョイントのアウタとインナを取り外してください。
- ⑦ 作業機をけん引しながら旋回し、標準ヒッチ側面とトラクタ後輪の間隔が約20cm程度になった時、停止してください。
- ⑧ ピン付ヨークのクランプピンを押して、パワージョイントのインナとアウタを、PTO軸、P I C軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- ⑨ 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。

取扱い上の注意

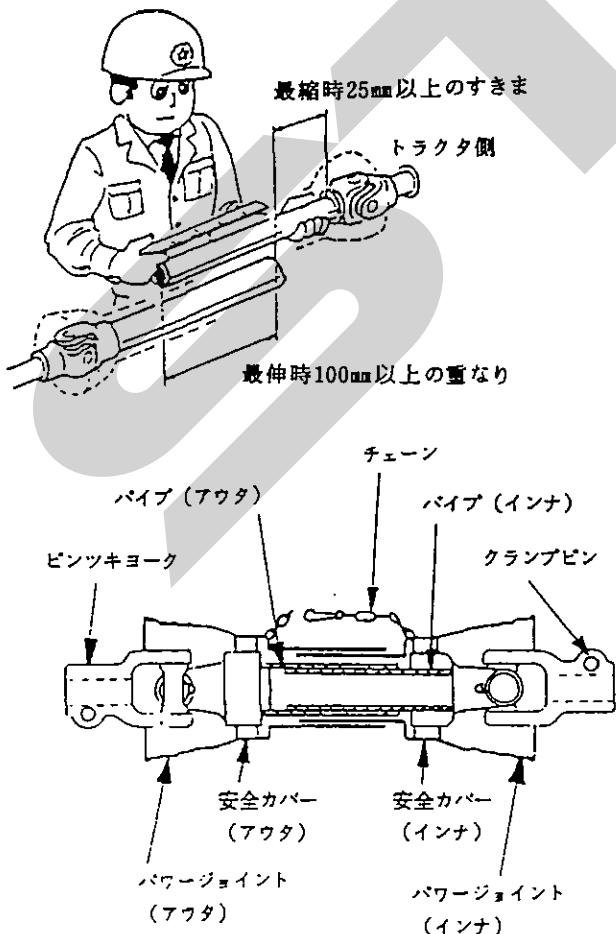
パワージョイントを上下に重ね合わせた時、
トラクタ後輪に接触し、ほぼ直線状にならない
場合は、標準ヒッチ側面とトラクタ後輪の
間隔が広くなるようにトラクタを移動してく
ださい。

(2) 2P倍角ヒッチ、ステアリングヒッチの場
合：TMB1040、1540、1840、1550

取扱い上の注意

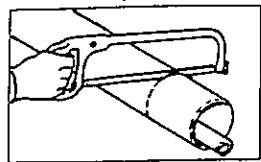
2P倍角ヒッチ、ステアリングヒッチには
ジョイントを2本装着します。マニュアボディ
と2Pフレームを結ぶジョイントは、スプライ
ンチューブのジョイントを使用してください。

- ① パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- ② パワージョイント（アウタ）からパワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- ③ トラクタのロワーリンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も接近する位置で、昇降を停止させてください。
- ④ ピン付ヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンが元の位置に出るまで押し込んでください。
- ⑤ 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。
- ⑥ ロワーリンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も離れる位置で昇降を停止させてください。
- ⑦ 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプの重なりが100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

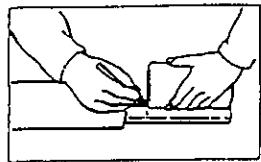


2. 切断方法

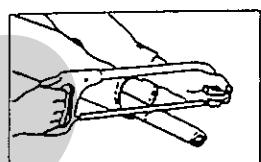
- (1) 安全カバーのアウタ・インナ両方を長い分だけ切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプのアウタとインナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。



切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合せます。

3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 安全カバーからチェーンをはずしてください。
- (2) 安全カバーのチューブ側を固定し、ヨーク側カバーを反時計方向に回転してください。
- (3) ヨーク側カバーをチューブ側に押すとヨーク側カバーが外れます。
- (4) チューブ側カバーをパイプから抜いてください。
- (5) 新しい安全カバーを組付ける時は逆手順で行ってください。

4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付ヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲ 注意

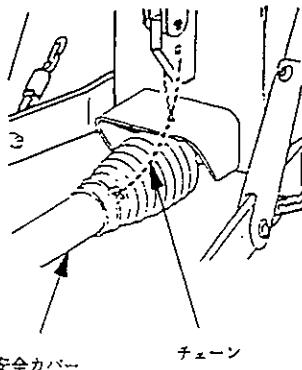
パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていないと、使用中に外れ、ケガをする事があります。

溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) パワージョイントは、アウターカバー側をトラクタPTO軸側に、インナーカバー側をPIC軸に接続してください。

- (3) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは旋回時の動きに順応できる余裕を持たせ、また他へのひっかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき、点検を行ってください。

2. 連結部の点検<標準ヒッチの場合:TMB1030、1530、1830>

トラクタのドローバと本機のヒッチカンが、トラクタ付属の連結ピンで連結され、リンチピンなどで抜け止めが確実にされているか。

不具合が見つかった時は「1-3-1 ドローバへの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

<2P倍角ヒッチ、ステアリングヒッチの場合:TMB1040、1540、1550、1840>

ロワーリンクピンには抜け止めのリンチピンが確実に挿入されているか。

不具合が見つかった時は抜け止めのリンチピンを挿入してください。

3. パワージョイントの点検

(1) ジョイントの抜け止めのクランプピンが、PTO軸、PIC軸それぞれの溝に納まっているか。

(2) 安全カバーに損傷はないか。

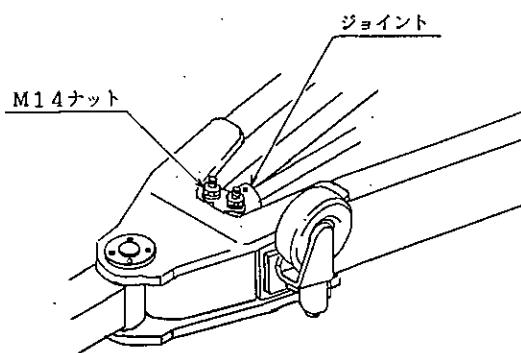
(3) 不具合が見つかった時は、「1-4 パワージョイントの装着」の説明に基づき、不具合を解消してください。

4. マニュアボディの点検

(1) ボルト・ナットにゆるみはないか。

ハブナットやステアリングマニュアのジョイント等、特に重要な部分のナットに緩みがないか点検してください。

不具合が見つかった時は、増締めをしてください。



(2) タイヤの亀裂・損傷・摩耗はないか。

不具合が見つかった時は交換してください。

(3) タイヤの空気圧は適正か。

不具合が見つかった時は表に基づき適正空気圧にしてください。

<タイヤの空気圧>

型式	TMB 1030・1040	TMB 1530・1540・1550	TMB 1830・1840
タイヤ サイズ	7.00-12- 6 PR	10/80-12- 6 PR	11L-15- 8 PR
空気圧	340 KPa (3.5kg/cm ²)	255 KPa (2.6kg/cm ²)	295 KPa (3.0kg/cm ²)

- (4) 床コンベヤチェーンの張りは適正か。
不具合が見つかった時は「5-2-1床コンベヤチェーンのテンション」の説明に基づき張りを調整してください。
- (5) 損傷部品はないか。
不具合が見つかったら部品の補修または交換してください。
- (6) 各部の給油は十分か。
不具合が見つかった時は「2-3給油箇所一覧表」の説明に基づき給油してください。

5. アタッチメントの点検

アタッチメントに付属している取扱説明書の「運転前の点検」の説明に基づきアタッチメントを点検してください。

2 エンジン始動での点検

▲ 警 告

- PTOを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
PTOを切ってから始動してください。

1. 駆動系統の点検

トラクタのエンジンをかけ、PTOを接続し、低速で回転させた時、異常音や異常振動がないか。

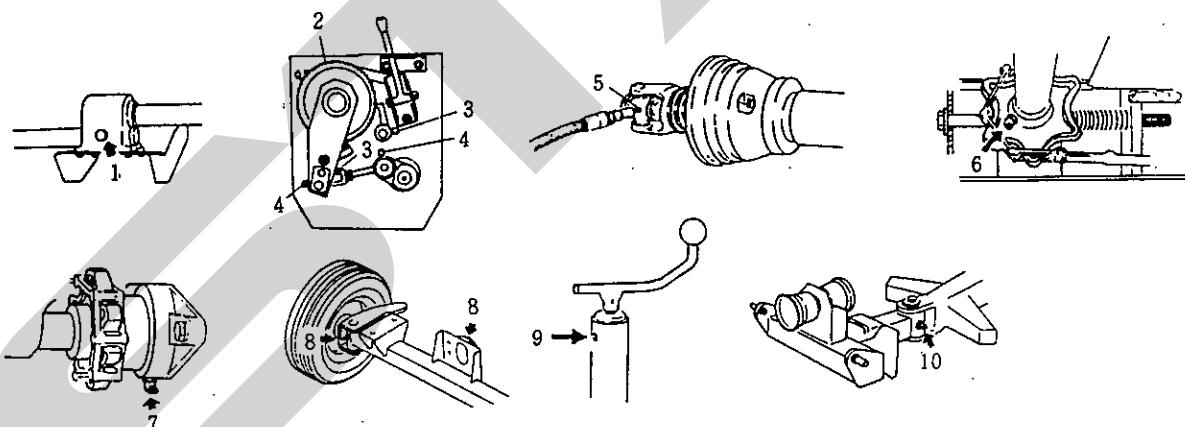
不具合が見つかった時は、「6-1不調処置一覧表」に基づき不具合を解消してください。

2. アタッチメントに付属している取扱説明書の「エンジン始動での点検」の説明に基づきアタッチメントを点検してください。

3 給油箇所一覧表

○給油、塗布するオイルは清潔なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油箇所	個所	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	ギヤボックス	1	グリース	作業シーズン毎	適量	補充
2	ラチエット	1	"	使用毎	"	爪部に塗布
3	ノッチ	2	"	"	"	給脂
4	コネクティングロッド	2	"	"	"	"
5	パワージョイント	—	"	"	"	"
6	コンベヤ従動スプロケット	2	"	"	"	"
7	コンベヤ駆動軸軸受	2	"	"	"	"
8	車軸	5	"	"	"	" TMB1550
9	スタンド	1	"	"	"	"
10	2P倍角ヒッチ・ステアリングヒッチ	3	"	"	"	TMB1040、1540、1840、1550

3 作業の仕方

1 本機の使用目的

マニュア標準ボディはアタッチメントを装着し、堆肥・鶏糞の散布や、牧草・とうもろこし等飼料作物の運搬と荷降しに使用します。

マニュア2P倍角ボディ・マニュアステアリングボディはアタッチメントを装着し、堆肥・鶏糞の散布に使用します。

他の用途には使用しないでください。

2 アタッチメントについて

マニュアボディは、堆肥散布や飼料作物の荷降し等のアタッチメントを装着して使用します。必要なアタッチメントを装着して作業してください。

アタッチメントの取扱説明書・部品表はそれぞれのアタッチメントに付属しています。

		型式	装着アタッチメント			
			マニュアアタッチメント	ワイドビータアタッチメント	ディスクビータアタッチメント	エレベータアタッチメント
マニ ュア ボ デイ	標準ヒッチ	TMB1030	AMN1810 AMN1820	AWB1800	ADW1800	AEL1010
		TMB1530				AEL1510
		TMB1830				AEL1810
マニ ュア ボ デイ	倍角ヒッチ	TMB1040				_____
		TMB1540				_____
		TMB1840				_____
	ステアリングヒッチ	TMB1550				_____

3 床コンベヤの変速操作

コンベヤ速度は、5段階に変速できます。

チェンジレバーを希望変速位置溝までスライドさせ、レバーをたおし、溝にはめこむと、変速操作は完了します。

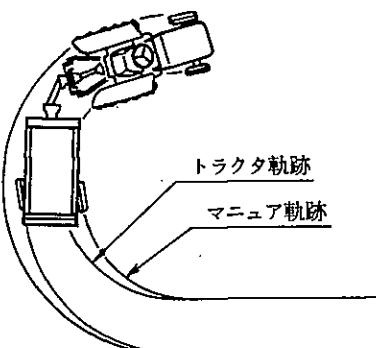
尚、チェンジレバーをN(中立)にするとコンベヤのみ停止します。

4 マニュアステアリングボディの調整

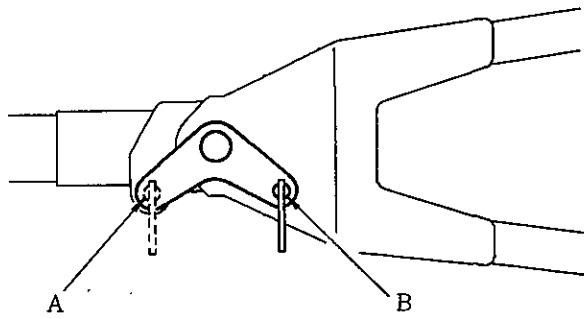
▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出し、思わぬケガをする事があります。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

ステアリングマニュアは、ヒッチ部の折れ角を感じて、タイヤをステアリングさせますので、トラクタとの内輪差が少なく、狭い通路でも、安全に能率の良い作業ができます。



ステアリング作業をする場合は、ヒッチ部のピンをAの位置に固定してください。後退時及びステアリングをさせない場合は、Bの位置に固定してください。



5 移動走行

▲注意

- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

本機に堆肥・鶏糞及び牧草・とうもろこし等の飼料作物を積載して移動する時、トラクタの操縦性は空車時とは大きく変化します。

堆肥等の積載により、トラクタの前輪荷重割合が減少し、操縦性が低下したり、ブレーキをかけた時の制動距離が長くなるなどの現象があらわれます。

移動走行する時は、低速走行し、ブレーキ操作は早めに行ってください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。
アタッチメントに付属している取扱説明書の「作業が終ったら」の説明に基づき手入れをしてください。

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械に付着していたり残っている堆肥等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。特に、回転部に巻き付いたワラやトワインなどは、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

3. 各部の給油箇所は「2-3 純正部品一覧表」に従って給油してください。
4. PTO軸、P I C軸、ジョイントスライド部など塗布されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 トラクタからの切り離し

▲注意

- 作業機をトラクタから切り離す時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機をトラクタから切り離す時、輪止めをせずに行うと、作業機が暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
切り離す時は、必ず、スタンドを接地させ、作業機の車輪に輪止めをしてください。

1. 標準ヒッチの場合

- (1) トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 作業機の車輪に輪止めをしてください。

- (3) PTO軸からパワージョイントを外してください。
 - (4) ジョイントスタンドを立て、パワージョイントをたてかけてください。
 - (5) 作業機のスタンドを立て、ヒッチカンがトラクタのドローバから浮き上がるまで、スタンドハンドルを回してください。
 - (6) 連結ピンの抜け止めピンを外し、連結ピンを抜いてください。
 - (7) トラクタのエンジンを始動し、静かに前進させ、ドローバからヒッチカンを外してください。
 - (8) 取り外した連結ピンは、抜け止めピン共に、保管してください。
2. 2P倍角ヒッチ・ステアリングヒッチの場合
- (1) トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
 - (2) 作業機の車輪に輪止めをしてください。
 - (3) PTO軸からパワージョイントを外してください。
 - (4) スタンドが接地するまで2P倍角ヒッチ・ステアリングヒッチを下げてください。

- (5) ロワーリングピンに差し込まれているリンクピンを抜きロワーリングピンからロワーリングを抜いてください。
- (6) トラクタのエンジンを始動し、静かに前進させてください。
- (7) 取り外したリンクピンは保管してください。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、P.I.C軸、パワージョイントのスライイン部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に従って、各部の点検・整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

▲ 注意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こすことがあります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

アタッチメントに付属している取扱説明書の「点検と整備について」の説明に基づきアタッチメントを点検整備してください。

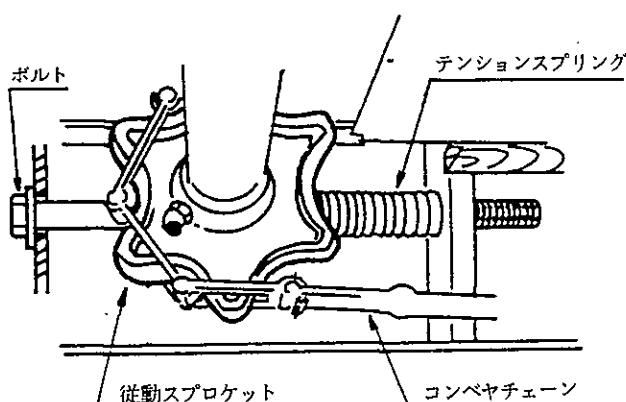
1 点検整備一覧表

時 間	項 目	処 置	備 考
新品使用 1 時間	全ボルト・ナットのゆるみ	増し締め	
使 用 每	機械の清掃 ギャボックスのグリース パワージョイントの破損 安全カバーの損傷 ハブナットのゆるみ タイヤの亀裂・損傷 タイヤの異常摩耗 タイヤの空気圧 床コンベヤチェーンのテンション 各部の損傷、部品脱落 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油	グリース補充 部品交換 " 増し締め 交 換 " 「2-1-4 マニュアボディの点検」に基づき調整 「5-2-1 床コンベヤチェーンのテンション」に基づき調整 部品交換、取付 増し締め 「2-3 純油箇所一覧表」に基づき給油	
シーズン終了後	機械の清掃 ギャボックスのグリース タイヤの溝深さ 各部の損傷、部品脱落 コンベヤチェーンの伸び 各部のボルト・ナットのゆるみ 各部の給油 塗装損傷部	補充 溝が浅ければ交換 部品交換、取付 全数交換 全ボルト・ナットの増し締め 「2-3 純油箇所一覧表」に基づき給油 塗装または油塗布	

2 各部の調整

1. 床コンベヤチェーンのテンション

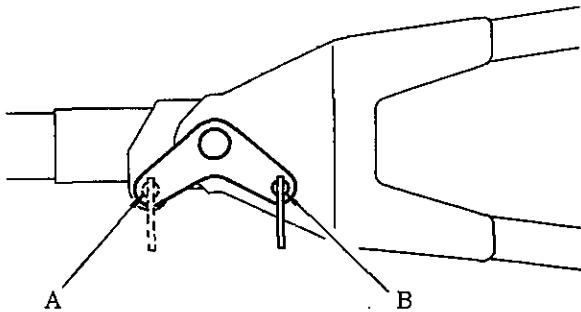
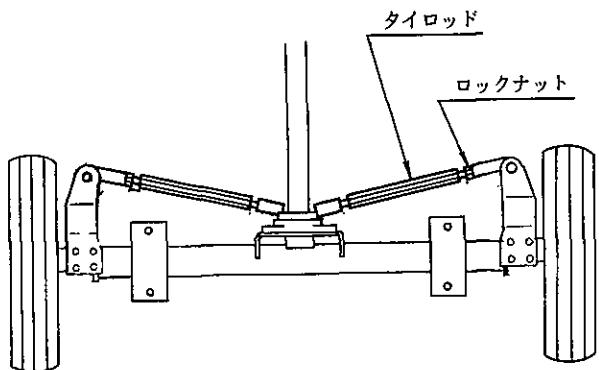
- (1) 荷箱内に入り、コンベヤチェーンの中央を力一杯持ち上げた時、チェーンが100~120mm持ち上がる様にセットします。
- (2) 左右のコンベヤチェーンの持ち上がる量が同じになるように、左右のテンションボルトを締め込んでください。



2. マニュアステアリングボディのトーン調整

左右のタイヤとマニュアフレームが平行でない場合は、ヒッチ部のピンをBの位置に固定し、タイロッドの長さを調整してください。

調整が終了したらロックナットでしっかり固定してください。



A B

6 不調時の対応

エンジンをとめてから処置してください。

トラブルが発生したら「6-1不調処置一覧表」に基づき処置してください。

アタッチメントにトラブルが生じたら付属している取扱説明書の「不調時の対応」の説明に基づき、処置してください。

A注 意

- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に機械が回転し、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置	備 考
床コンベヤが動かない	ギヤ・シャフトの破損	部品交換	
	コンベヤチェーンの破損	部品交換の上、「5-2-1 床コンベヤチェーンのテンション」に基づき張り直し	
	コンベヤチェーンの外れ	テンションボルトをゆるめ、スプロケットにかけ直し、「5-2-1 床コンベヤチェーンのテンション」に基づき張り直し	
ギヤボックスが異常発熱する	グリース量が不足	「2-3 純油箇所一覧表」に基づき給油	
	ペアリング、ギヤ、シャフトが損傷	部品交換	
機体がふらつく	左右のタイヤ空気圧がアンバランス	「2-1-4 マニュアボディの点検」に基づき適正空気圧にする	
	ハブナットがゆるんでいる	増し締めする	
	ハブペアリングの摩耗	キャッスルナットの増し締めまたはペアリングの部品交換	
	左右のタイロッド調整がアンバランス（ステアリングボディのみ）	「5-2-2 マニュアステアリングボディのトーン調整」に基づき調整	
ステアリングが動かない (ステアリングボディのみ)	固定状態になっている (ステアリングボディのみ)	「3-4 マニュアステアリングボディの調整」に基づき、ピンの位置を変更する。	

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（ “ ” ）
- ⑤ 個数（ “ ” ）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属しております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	<input checked="" type="checkbox"/> 付 2付
2	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例）BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の□・□は、以下のことを表しております。

□…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

□…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

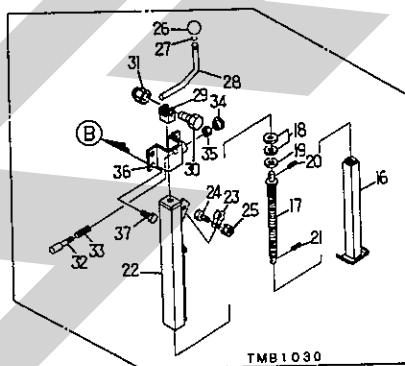
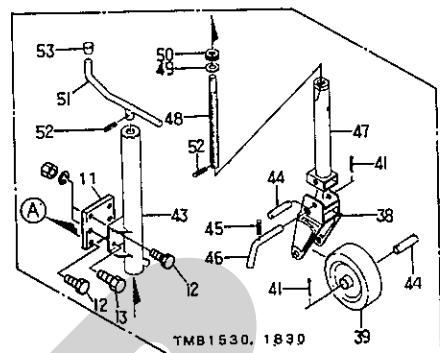
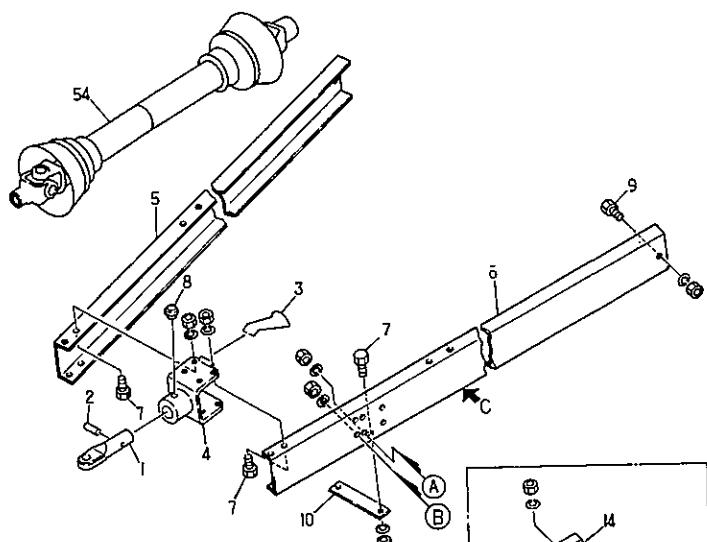
補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

TMB1030・1530・1830

スタンド・ドローバ

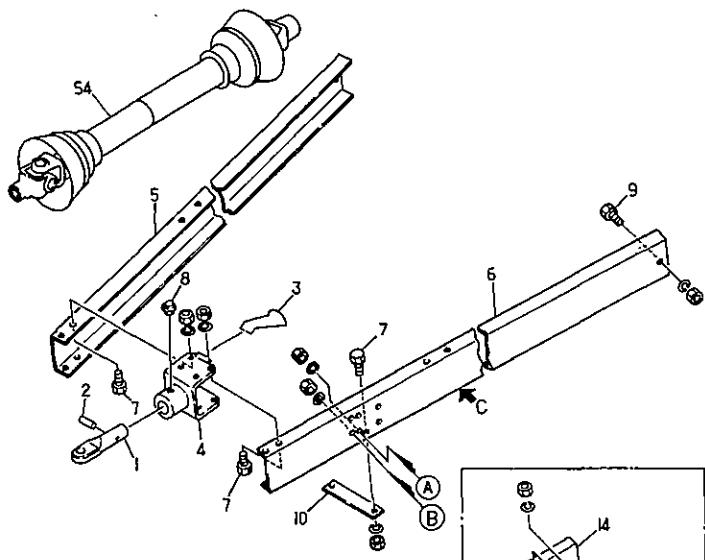


12047-1

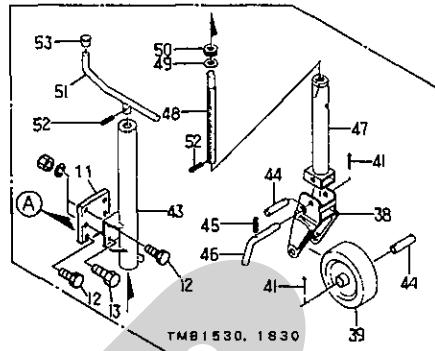
部品番号	部品名称	個数	部品番号	部品名称	個数
1 76700	ヒッチカン	1	21 PS 8025	スプリングピン; 8×25	TMB 1030
2 76701	ピン	1	22 83271	プラケット	TMB 1030
3 68168	ブラケット	1	23 62286	スプリング	TMB 1030
4 92719	ヒッチ	1	24 BZ 0825G	ボルト; M8×25(8.8)	TMB 1030
5 92720	ドローバ; R TMB1030	1	25 NP 08G	スプリングナット; M8	TMB 1030
92724	ドローバ; R TMB1530	1	26 66724	グリップ	TMB 1030
92726	ドローバ; R TMB1830	1	27 58640	バネ	TMB 1030
6 92721	ドローバ; L TMB1030	1	28 68310	レバー	TMB 1030
92725	ドローバ; L TMB1530	1	29 00716	レバーウケ	TMB 1030
92727	ドローバ; L TMB1830	1	30 BZ 0640G	ボルト; M6×40	TMB 1030
7 BZ 1230 AG	ボルト; M12×30(8.8) TMB1030、1530	14	31 NN 06G	ナイロンナット; M6	TMB 1030
BZ 1230 AG	ボルト; M12×30(8.8) TMB1830	10	32 83273	バー	TMB 1030
8 MS 17	穴用メクラキャップ; φ17	1	33 78897	スプリング	TMB 1030
9 BZ 2040 AG	ボルト; M20×40(8.8)	2	34 44289	ニギリ; M8	TMB 1030
10 92938	プレート	1	35 NZ 08G	ナット; M8(8)	TMB 1030
11 92807	プレート TMB 1530、1830	1	36 92718	ブラケット	TMB 1030
12 BZ 1235 AG	ボルト; M12×35(8.8) TMB 1530、1830	4	37 BZ 1225 AG	ボルト; M12×25(8.8)	TMB 1030
13 BZ 1240 AG	ボルト; M12×40(8.8) TMB 1530、1830	2	38 103278	アーム	TMB 1530、1830
14 103541	チャンネル TMB1830	2	39 103277	ホイール	TMB 1530、1830
15 BZ 1235 AG	ボルト; M12×35(8.8) TMB1830	4			
16 69598	リフトブラケット TMB 1030	1	41 PC 5036G	ワリピン; 5×36	TMB 1530、1830
17 46003	シャフト TMB 1030	1			
18 72860	ワッシャ TMB 1030	2	43 68503	ブラケット	TMB 1530、1830
19 58616	ザガネ TMB 1030	1	44 68131	ピン	(見)41付 TMB 1530、1830
20 PS 8032	スプリングピン; 8×32 TMB1030	1	45 PS 6025	スプリングピン; 6×25	TMB 1530、1830

TMB1030 • 1530 • 1830

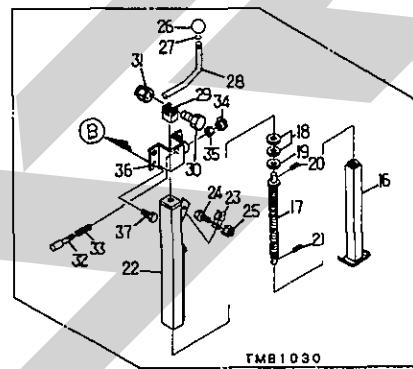
スタンド・ドローバ



12047-1

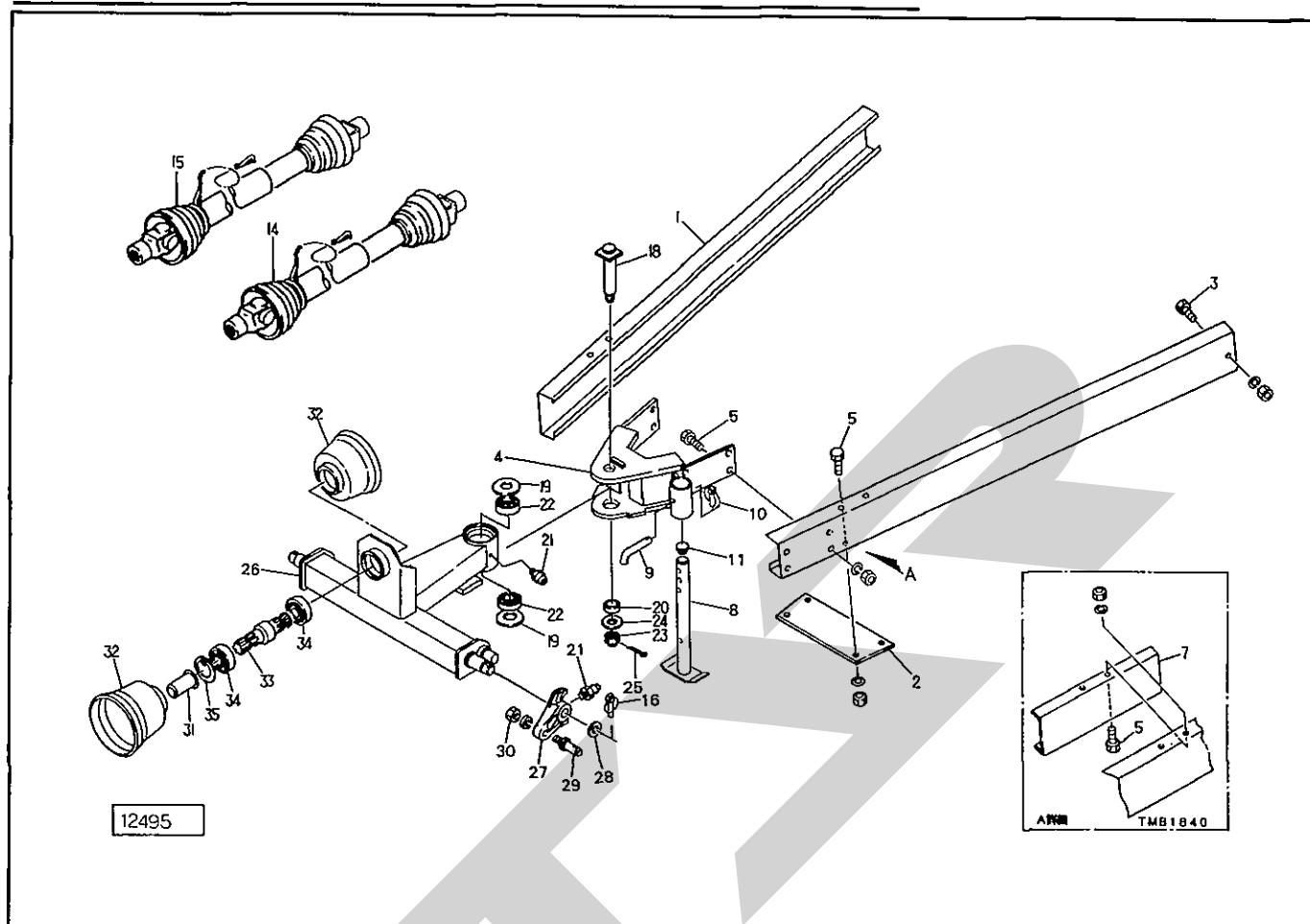


TM#1530, 1830



TM81030

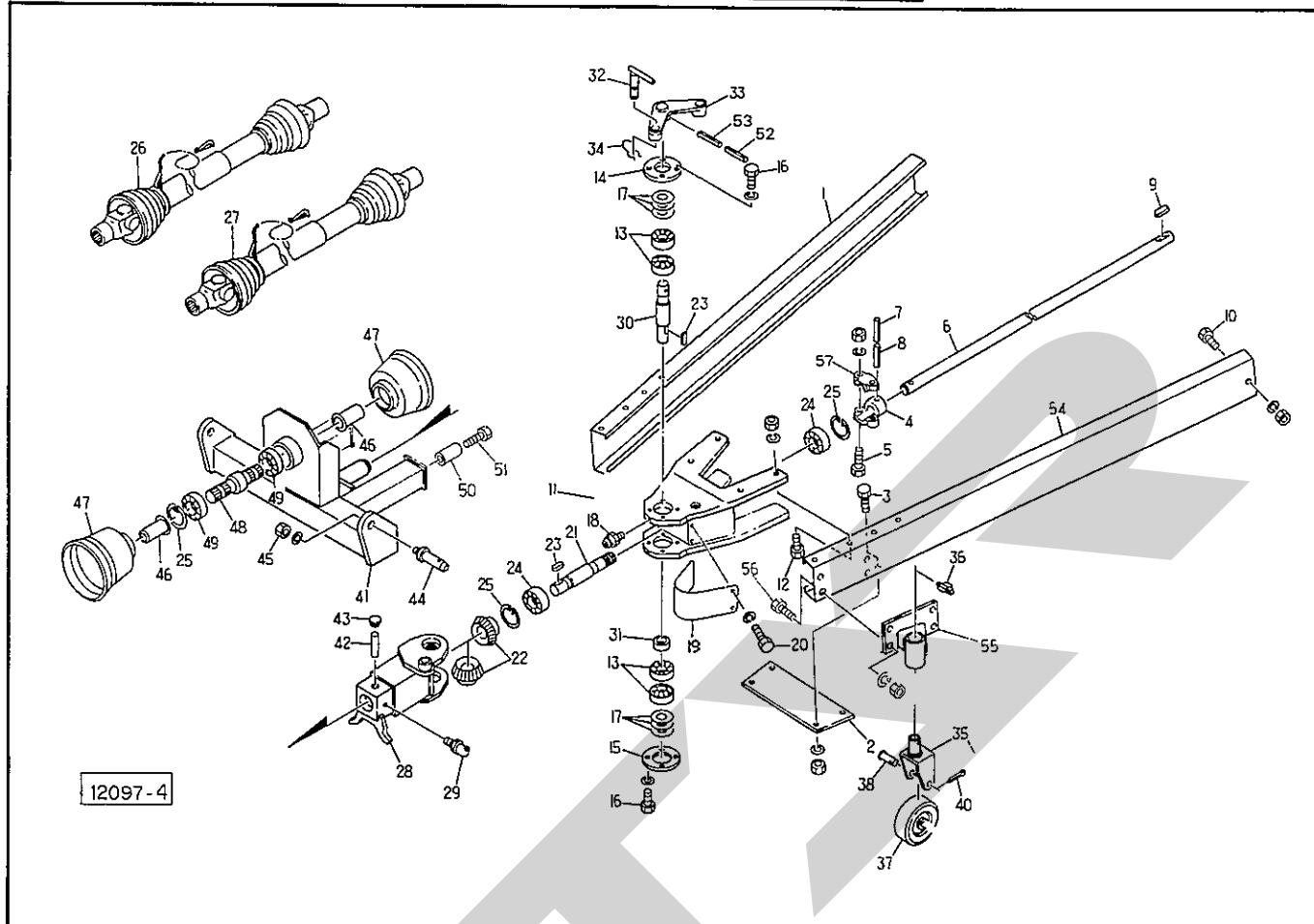
TMB1040・1540・1840
ドローバ・スタンド・2Pフレーム



見出番号	部品番号	部品名	個数	見出番号	部品番号	部品名	個数
1	102989	ドローバ	2	27	102978	ロワーリングブラケット	2
	102990	ドローバ	2	28	90678	ワッシャ：30×4.5	2
	102991	ドローバ	2	29	00006	ロワーリングピン：0・I ⑩30付	2
2	92989	プレート	1	30	NZ 22150WG	ナット：M22×P 1.5 (8)	2
3	BZ 2040AG	ボルト；M20×40 (8.8)	2	31	00096	PICキャップ；35	2
4	102975	ヒッチ	1	32	00823	PICカバー；I	2
5	BZ 1230AG	ボルト；M12×30 (8.8) TMB1040、1540	16	33	86003	PICシャフト	1
	BZ 1235 AG	ボルト；M12×35 (8.8) TMB1840	16	34	J 6007 LLU	ペアリング；6007 LLU	2
7	102987	チャンネル	2	35	DHC 62	スナップリング；H 62	1
8	90042	スタンド	1				
9	77934	ピン	1				
10	00738	リンチピン；6	1				
11	99653	キャップ；42.7	1				
14	85979	パワージョイント	1				
15	00611	パワージョイント；SG-040	1				
16	00739	リンチピン；9	2				
18	92978	シャフト ⑩25付	1				
19	85996	プレート	2				
20	92980	カーラー；30×24	1				
21	ONAS 6	グリースニップル；A-M6×1F	3				
22	J 30206	ペアリング；30206	2				
23	00712	キャッスルナット；M24×P 1.5	1				
24	WRA 24G	ワッシャ；M24	1				
25	PC 4032G	ワリピン；4×32	1				
26	102976	2Pフレーム	1				

TMB1550

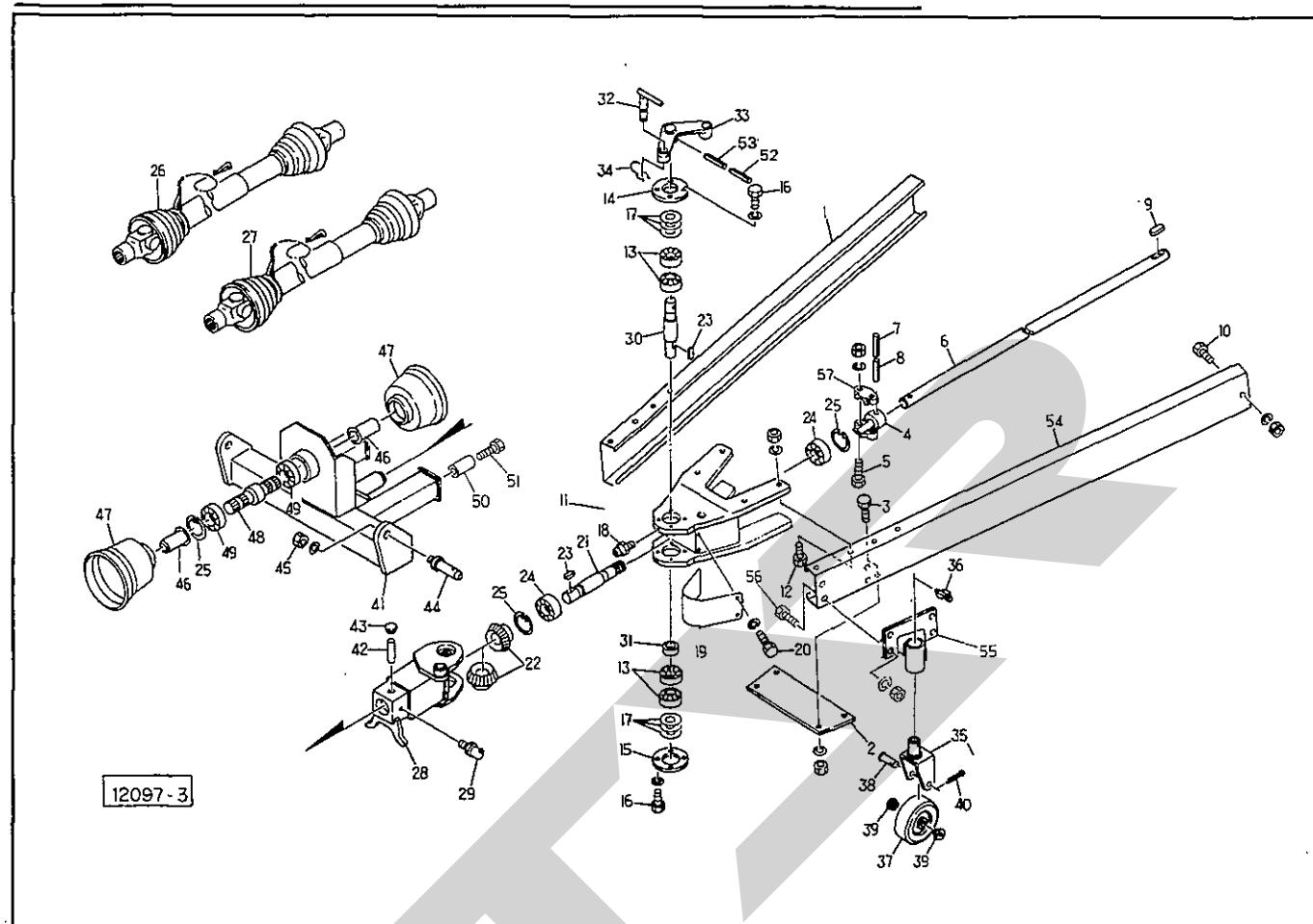
ドローバ・スタンド・ヒッチ・コネクタ・2Pフレーム



見出番号	部品番号	部品名 称	個数	見出番号	部品番号	部品名 称	個数
1	92972	ドローバ; R	1	24	J6206LLU	ペアリング; 6206 LLU	2
2	92989	プレート	1	25	DHC62	スナップリング; H 62	3
3	BZ1230AG	ボルト; M12×30 (8.8)	8	26	85979	パワージョイント	1
4	100087	ジョイント; 1 (見 7、8、57付)	1	27	00611	パワージョイント; SG-040	1
5	BZ1465AG	ボルト; M14×65 (8.8)	2	28	97458	コネクタ (見 29付)	1
				29	ONBS6	グリースニップル; B-M 6×1 F	1
6	93846	シャフト	1	30	93849	シャフト	1
7	PS5050	スプリングピン(W); 5×50	1	31	93850	カラー; Ø 25.5×5	1
8	PS8050	スプリングピン(W); 8×50	1	32	93852	ピン	1
9	62282	平行キー(両丸); 8×7×38	1	33	93851	アーム	1
10	BZ2040AG	ボルト; M20×40 (8.8)	2	34	56984	クリップ; 17×8	1
11	97457	ヒッチ (見 18付)	1	35	103280	キャスター	1
12	BZ1235AG	ボルト; M12×35 (8.8)	8	36	00739	リンチピン; 9	1
13	J 30205	ペアリング; 30205	4	37	103277	ホイール	1
14	93840	キャップ	1	38	68131	ピン (見 40付)	1
15	93841	キャップ	1	40	PC5036G	ワリピン; 5×36	1
16	BZ1025WG	ボルト; M10×25 (8.8)	8	41	97301	2 P フレーム	1
17	55853	シム; 0.2	7	42	76701	ピン	1
18	ONAS6	グリースニップル; A-M 6×1 F	2	43	MS17	穴用メクラキャップ; Ø 17	1
19	93842	カバー	1	44	00006	ロワーリンクピン; 0-I (見 45付)	2
20	BZ0816WG	ボルト; M8×16 (8.8)	4	45	NZ22150WG	ナット; M22×P1.5 (8)	2
21	93843	シャフト	1	46	00096	PIC キャップ; 35	2
22	74564	マイタギヤ; 19 T	2	47	00823	PIC カバー; I	2
23	62284	平行キー(片丸); 8×7×30	2	48	86003	PIC シャフト	1

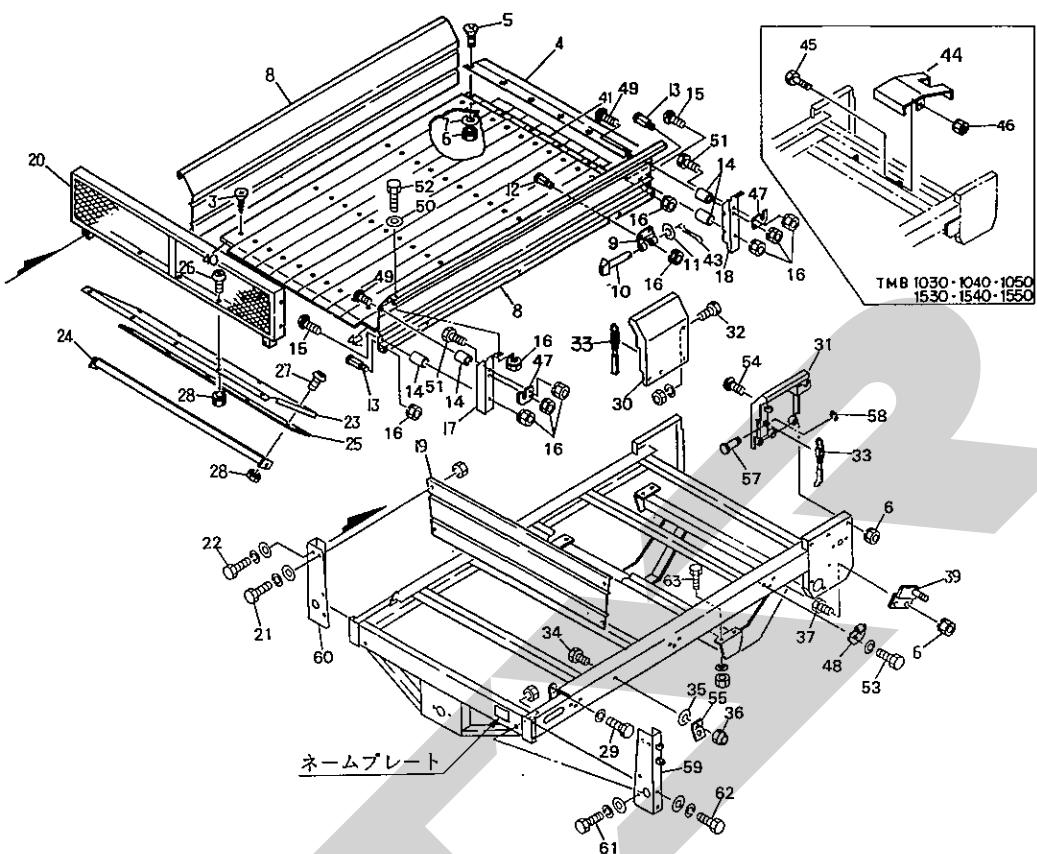
TMB 1550

ドローバ・スタンド・ヒッチ・コネクタ・2Pフレーム

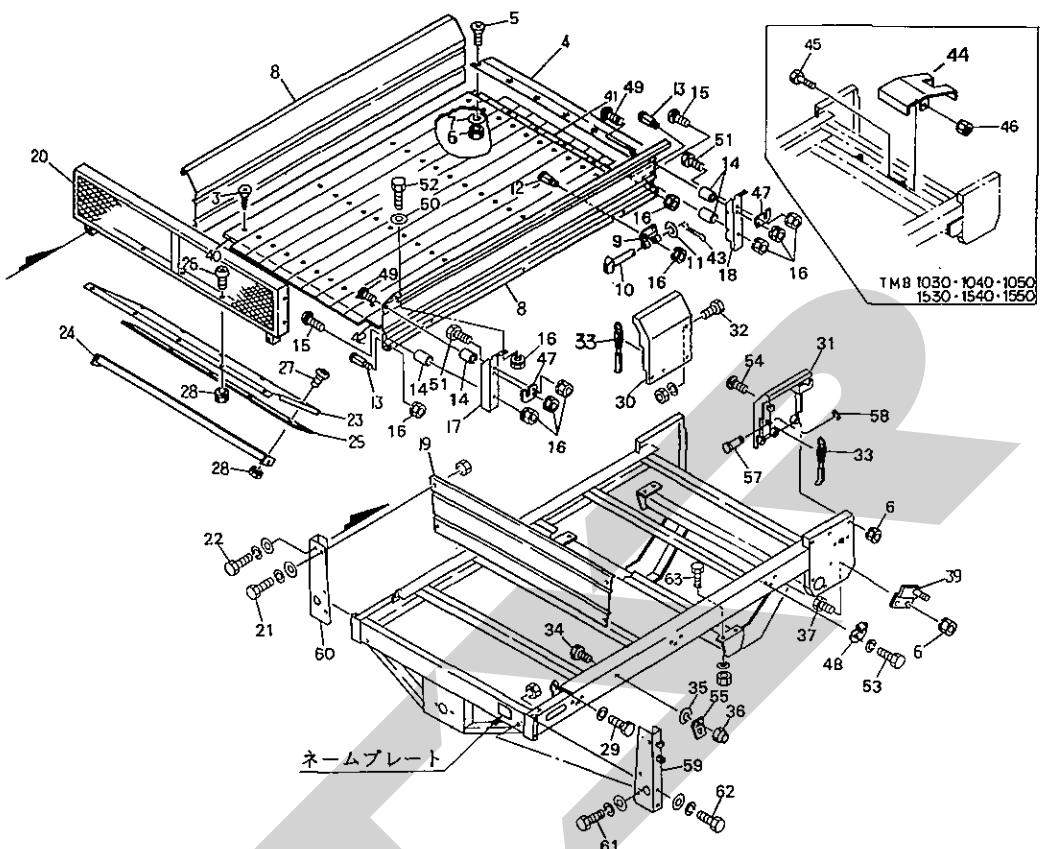


TMB 1030 • 1530 • 1830 • 1040 • 1540 • 1840 • 1550

フレーム・フロント・リヤボード



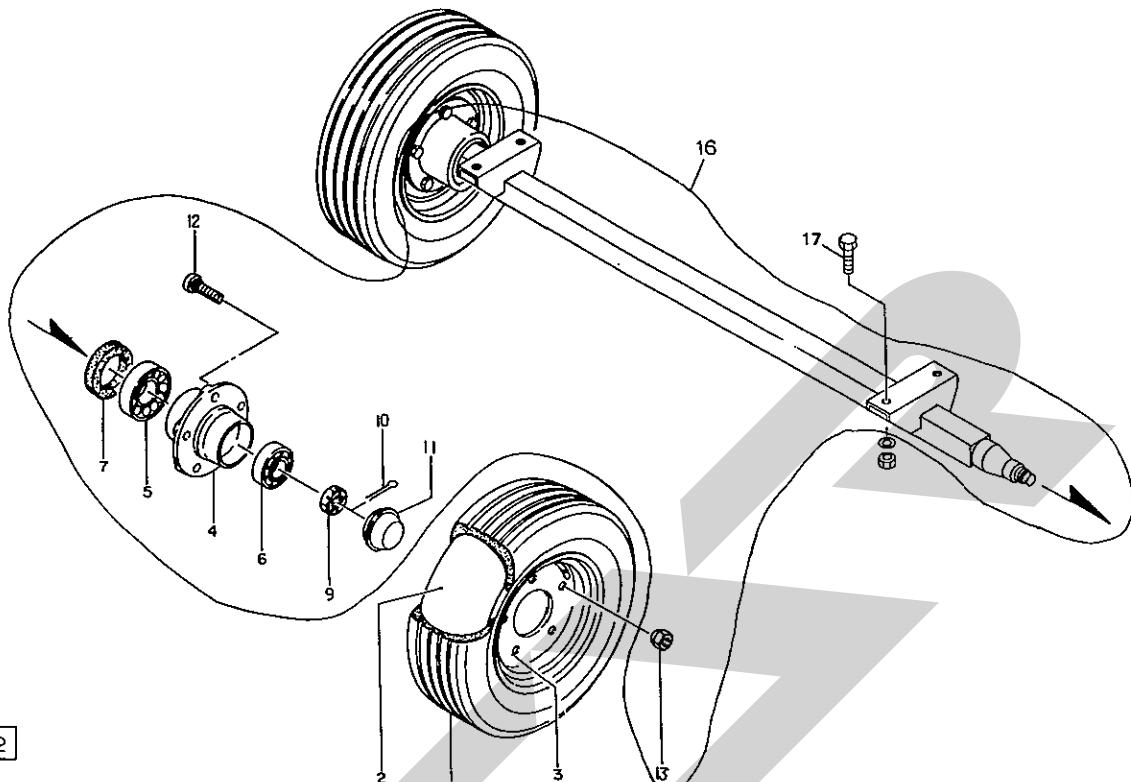
TMB 1030・1530・1830・1040・1540・1840・1550
フレーム・フロント・リヤボード



見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
41	92696-3	フロアーボード; C TMB 1830, 1840	9	60	102611	フロントサポート; R	1
42	92694-4	フロアーボード; D TMB 1030, 1040	1	61	BZ 1020 APG	ボルト; M10×20 (8.8)	2
	92695-4	フロアーボード; D TMB 1530, 1540, 1550	1	62	BZ 1020 WPG	ボルト; M10×20 (8.8)	4
	92696-4	フロアーボード; D TMB 1830, 1840	1	63	BZ 1225 AG	ボルト; M12×25 (8.8)	8
43	PC 3220G	ワリピン; 3.2×20 TMB 1030, 1040	4				
	PC 3220G	ワリピン; 3.2×20 TMB 1530, 1540, 1550 1830, 1840	6				
44	99702	カバー TMB 1030, 1040	1				
	99704	カバー TMB 1530, 1540, 1550	1				
45	BZ 1025G	ボルト; M10×25(8.8) TMB 1030, 1040 1530, 1540, 1550	2				
46	NP 10G	スプリングナット; M10 TMB 1030, 1040 1530, 1540, 1550	2				
47	102609	プレート	4				
48	102692	チョウバン; オス TMB 1030, 1040	4				
	102692	チョウバン; オス TMB 1530, 1830, 1540 1550	6				
49	BR 1085G	カクネマルアタマボルト; M10×85	4				
50	WRA 10G	ワッシャ; M10	4				
51	BZ 1025G	ボルト; M10×25 (8.8)	4				
52	BZ 1020G	ボルト; M10×20 (8.8)	4				
53	BZ 0820G	ボルト; M8×20 TMB 1030, 1040, 1050	12				
	BZ 0820G	ボルト; M8×20 TMB 1530, 1830, 1540 1840, 1550	16				
54	BR 1055G	カクネボルト(A形1種); M10×55	6				
55	67426	プラケット	4				
57	102317	ピン; 8×20	4				
58	DE 6	スナップリング; E6	4				
59	102610	フロントサポート; L	1				

TMB1030・1530・1830・1040・1540・1840

シャジク・タイヤ・ハブ

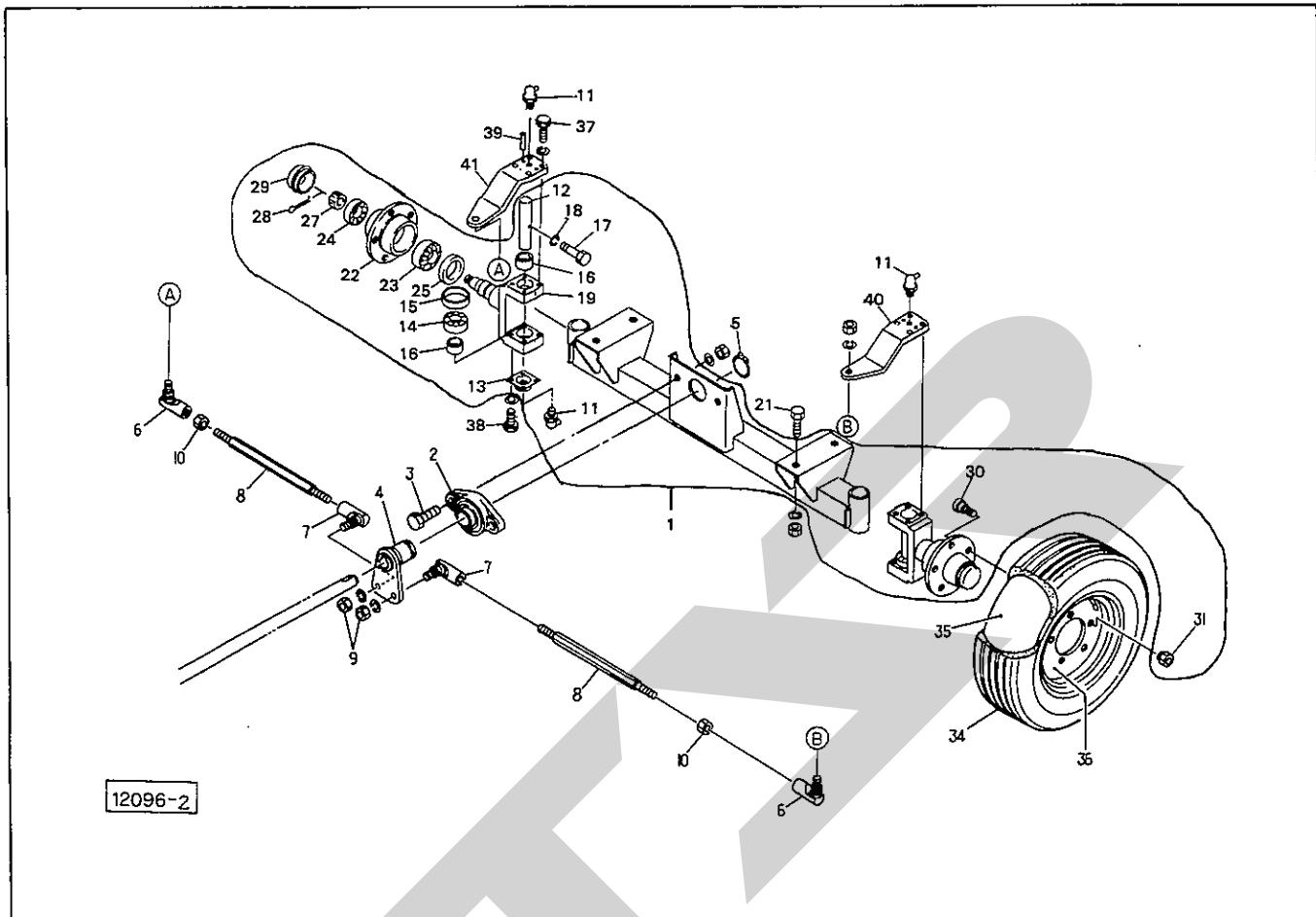


12475-2

品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	00378	タイヤ; 7.00-12-6PR TMB1030、1040	2	17	BZ 1635 AG	ボルト; M16×35(8.8)	4
	00379	タイヤ; 10/80-12-6PR TMB1530、1540	2	ASY	00855	タイヤ(クミ); 7.00-12-6PR TMB1030、1040	2
	00384	タイヤ; 11L-15-8PR TMB1830、1840	2	ASY	00856	タイヤ(クミ); 10/80-12-6PR TMB1530、1540	2
2	00385	チューブ; 7.00-12 TMB1030、1040	2	ASY	00862	タイヤ(クミ); 11L-15-8PR TMB1830、1840	2
	00386	チューブ; 10/80-12 TMB1530、1540	2			-	
	00389	チューブ; 11L-15 TMB1830、1840	2			-	
3	00853	ホイール; 5JA×12 TMB1030、1040	2			-	
	00854*	ホイール; 7.00×12 TMB1530、1540	2			-	
	102973	ホイール; 10J×15 TMB1830、1840	2			-	
4	00873	ハブ; F62×80 TMB1030、1530、1040、1540	2			-	
	00876	ハブ; F62×85 TMB1830、1840	2			-	
5	J 30208	テーパペアリング; 30208 TMB1030、1530 TMB1040、1540	2			-	
	J 30209	テーパペアリング; 30209 TMB1830、1840	2			-	
6	J 30206	テーパペアリング; 30206	2			-	
7	00874	シールワッシャ; 40×80 TMB1030、1530 TMB1040、1540	2			-	
	00877	シールワッシャ; 45×85 TMB1830、1840	2			-	
9	00712	キャップスルナット; M24×1.5	2			-	
10	PC 4032G	ワリピン; 4×32	2			-	
11	00415	キャップ; 62	2			-	
12	00870	ボルト; M16×1.5×45 TMB1030、1530 TMB1040、1540	10			-	
	00878	ボルト; M18×1.5×49 TMB1830、1840	12			-	
13	00871	ホイールナット; M16×1.5 TMB1030、1530 TMB1040、1540	10			-	
	00884	ホイールナット; M18×1.5 TMB1830、1840	12			-	
16	108392	ハブツキシャジク TMB1030、1530 TMB1040、1540	1			-	
	103543	ハブツキシャジク TMB1830、1840	1			-	

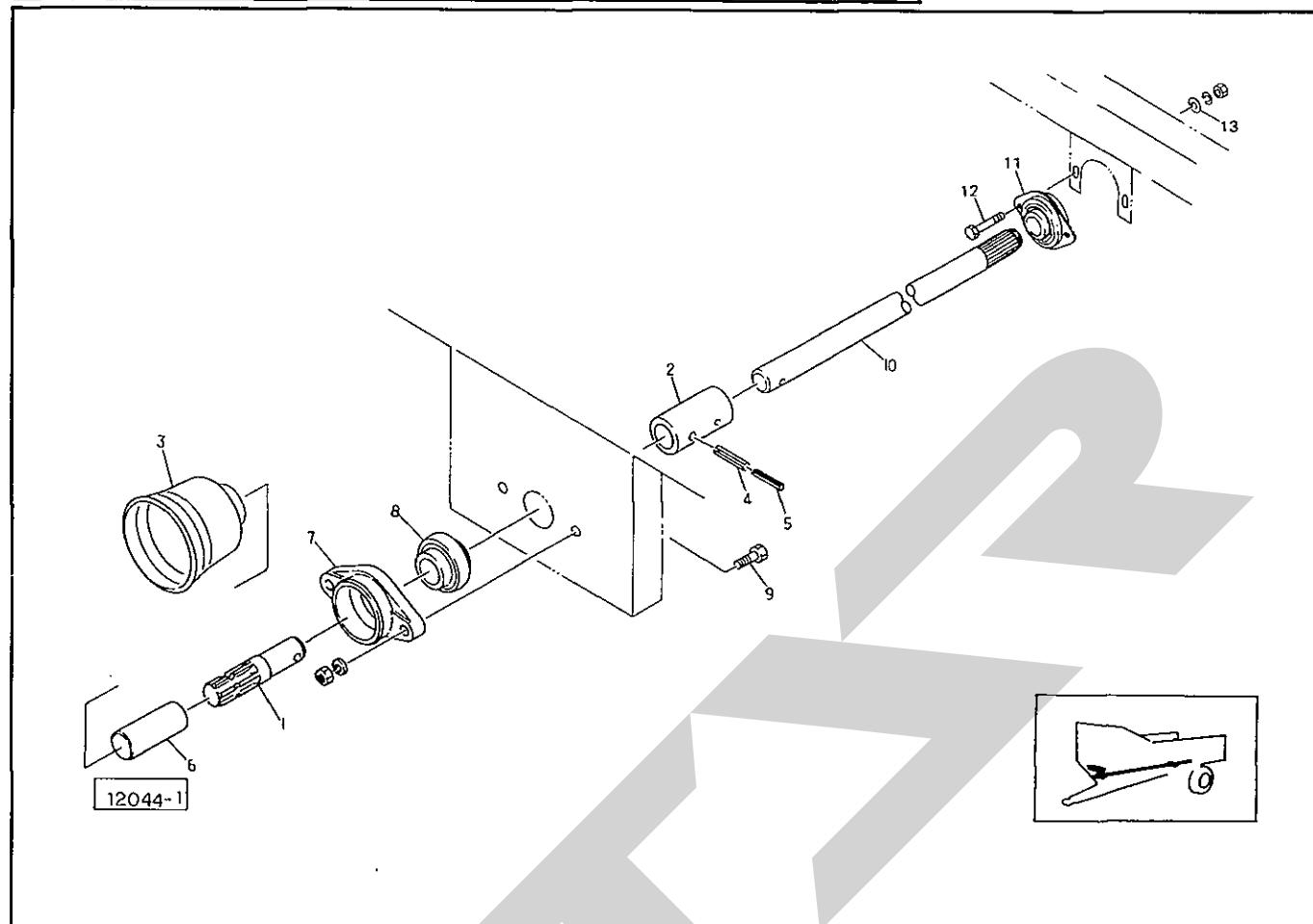
TMB1550

シャジク・タイヤ・ハブ



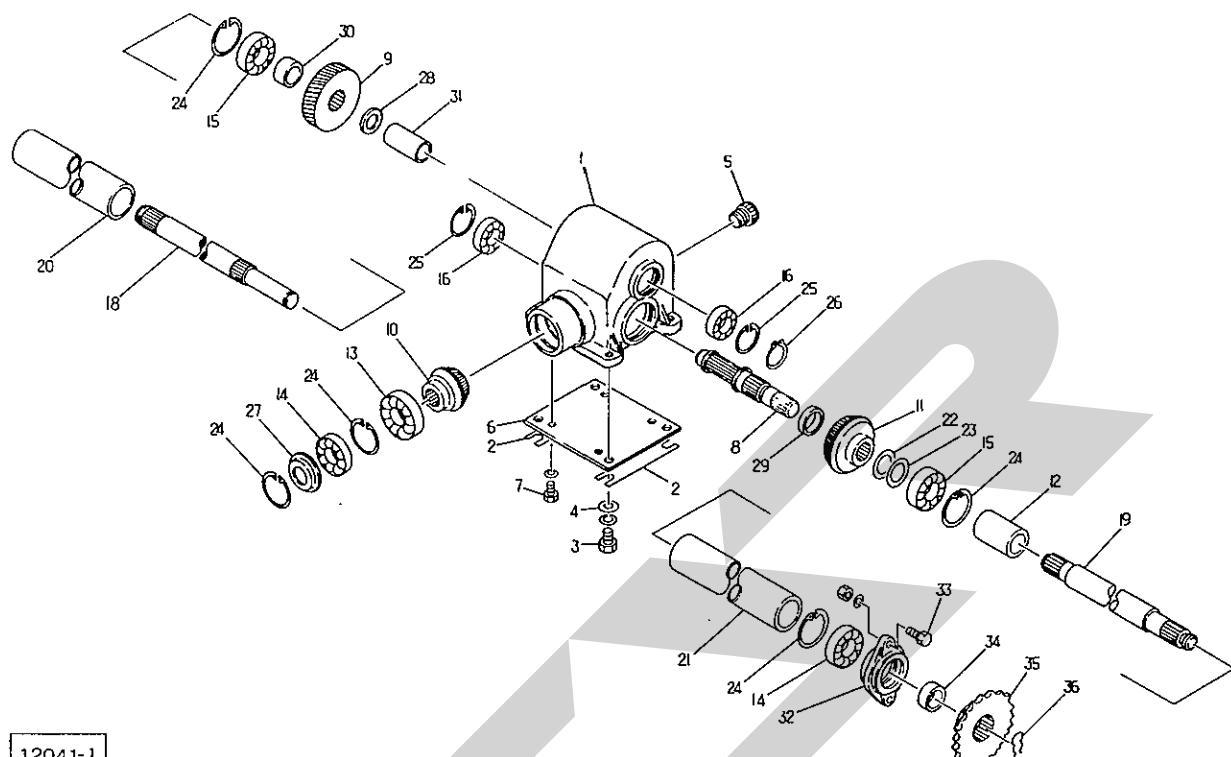
品番	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	108991	ハブソキシャジク	1				
2	JUCFL209D1	ペアリングユニット；UCFL209 D 1	1	27	00712	キャスルナット	2
3	BZ1640AG	ボルト；M10×40(8.8)	2	28	PC4032G	ワリピン；4×32	2
4	93885	ボス	1	29	00415	キャップ；62	2
5	DC45	スナップリング；S45	1	30	00870	ボルト；M16×1.5×45	10
6	SLFR1-16S	ロッドエンド；SLFR1-16 S	2	31	00871	ホイールナット；M16×1.5	10
7	SLFR1-16LS	ロッドエンド；SLFR1-16 LS	2				
8	93856	ロッド	2				
9	NZ16WG	ナット；M16(8)	4	34	00379	タイヤ；10/80-12-6PR	2
10	NZ16G	ナット；M16(8)	2	35	00386	チューブ；10/80-12	2
11	ONBS8	グリースニップル；B-M8F	4	36	00854	ホイール；7.00×12	2
12	108984	シャフト	2	ASY	00856	タイヤ(クミ)；10/80-12-6PR	2
13	108987	キャップ	2	37	BZ1235WG	ボルト；M12×35(8.8)	8
14	J51206	スラストペアリング；51206	2	38	BZ1220WG	ボルト；M12×20(8.8)	8
15	108986	カラー	2	39	PS8032	スプリングピン；8×32	4
16	109027	ブッシュ	4	40	105803	アーム；L	1
17	BZ1020G	ボルト；M10×20(8.8)	2	41	105804	アーム；R	1
18	WSA10G	Sワッシャ；M10	2				
19	108988	ヒンジ	2				
21	BZ1635AG	ボルト；M16×35(8.8)	4				
22	108989	ハブ	2				
23	J30209	テーパーベアリング；30209	2				
24	J30206	テーパーベアリング；30206	2				
25	00877	シールワッシャ；45×85	2				

TMB 1030・1530・1830・1040・1540・1840・1550
P I C シャフト



TMB1030 · 1530 · 1830 · 1040 · 1540 · 1840 · 1550

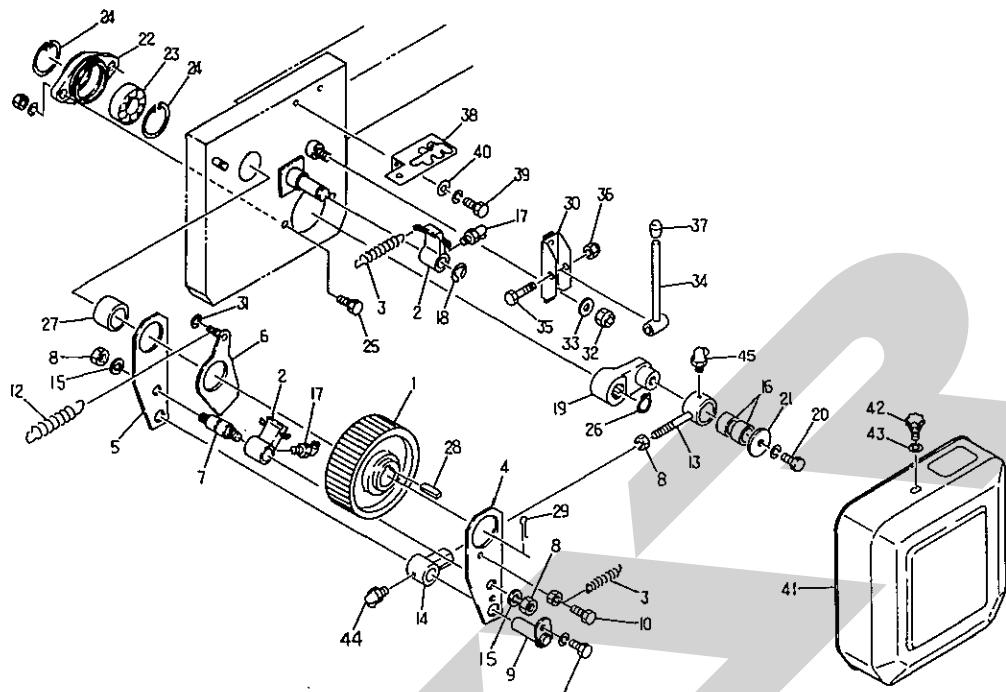
ギヤボックス



12041-1

TMB 1030・1530・1830・1040・1540・1840・1550

クドウ

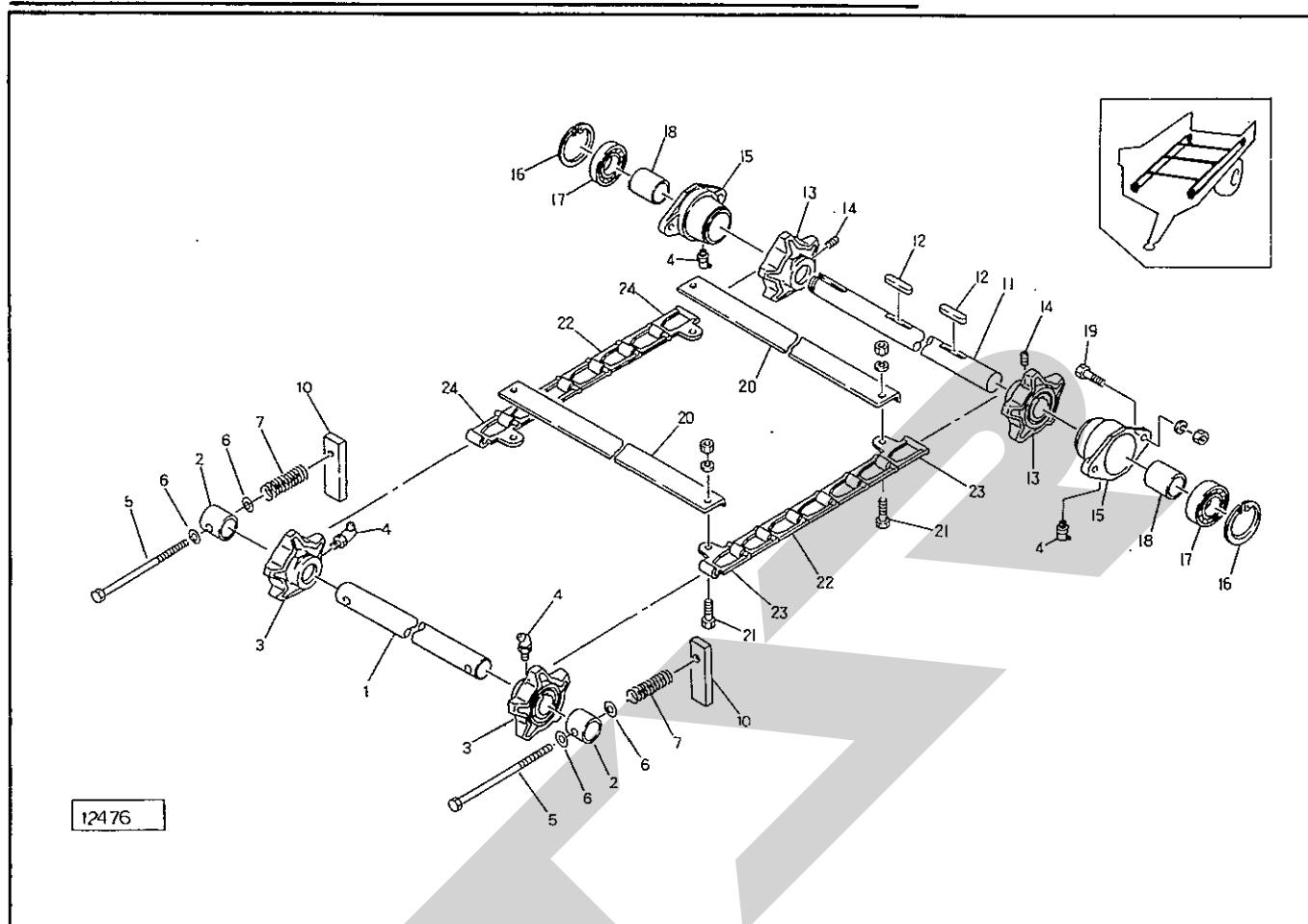


12042-3

番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	99554	ラチェットホイール ④28付	1	26	DC 30	スナップリング; S 30	1
2	84813	ノッチ ④17付	2	27	92809	カラー; $\phi 35.7 \times 30$	1
3	84814	スプリング	2	28	KFB10080500	平行キー(片丸); 10×8×50	1
4	92742	アーム	1	29	PC6356G	ワリピン; 6.3×56	1
5	92743	アーム	1	30	102380	プラケット	1
6	92744	ノッチガイド	1	31	DE 6	スナップリング; E 6	1
7	92745	バー ④8付	1	32	NN 12G	ナイロンナット; M 12	1
8	NZ 12G	ナット; M 12 (8)	3	33	42783	ワッシャ; 12	1
9	92746	ピン	1	34	92751	レバー	1
10	BZ 0816NG	ボルト; M8×16 (8.8)	1	35	BZ 1055G	ボルト; M10×55 (8.8)	1
11	BZ 0816WG	ボルト; M8×16 (8.8)	1	36	NN 10G	ナイロンナット; M10	1
12	84823	スプリング	1	37	00722	ニギリ; 12	1
13	92747	ロッド ④15、17付	1	38	92752	ガイド	1
14	92748	ホルダ ④17付	1	39	BZ 0820WG	ボルト; M8×20 (8.8)	2
15	WS 12G	S ワッシャ; M12	1	40	44097	ワッシャ; 8	2
16	KBB-3012	カーボンドライベアリング; KBB-3012	2	41	92753	カバー	1
17	ONBS 6	グリスニップル; B-M6-1F	2	42	00690	ニギリ; M8×14	2
18	DE 15	スナップリング; E 15	1	43	WRA08G	ワッシャ; M8	2
19	84820	クランクアーム	1	44	ONAS 6	グリースニップル; A-M6×1F	1
20	BZ 1020WG	ボルト; M10×20 (8.8)	1	45	ONCS 6	グリースニップル; C-M6×1F	1
21	61737	ワッシャ; $\phi 11 \times \phi 45 \times 3.2$	1				
22	92749	シクウケ	1				
23	J 6206LLU	ベアリング; 6206LLU	1				
24	DHC 62	スナップリング; H 62	2				
25	BZ 1235AG	ボルト; M12×35 (8.8)	2				

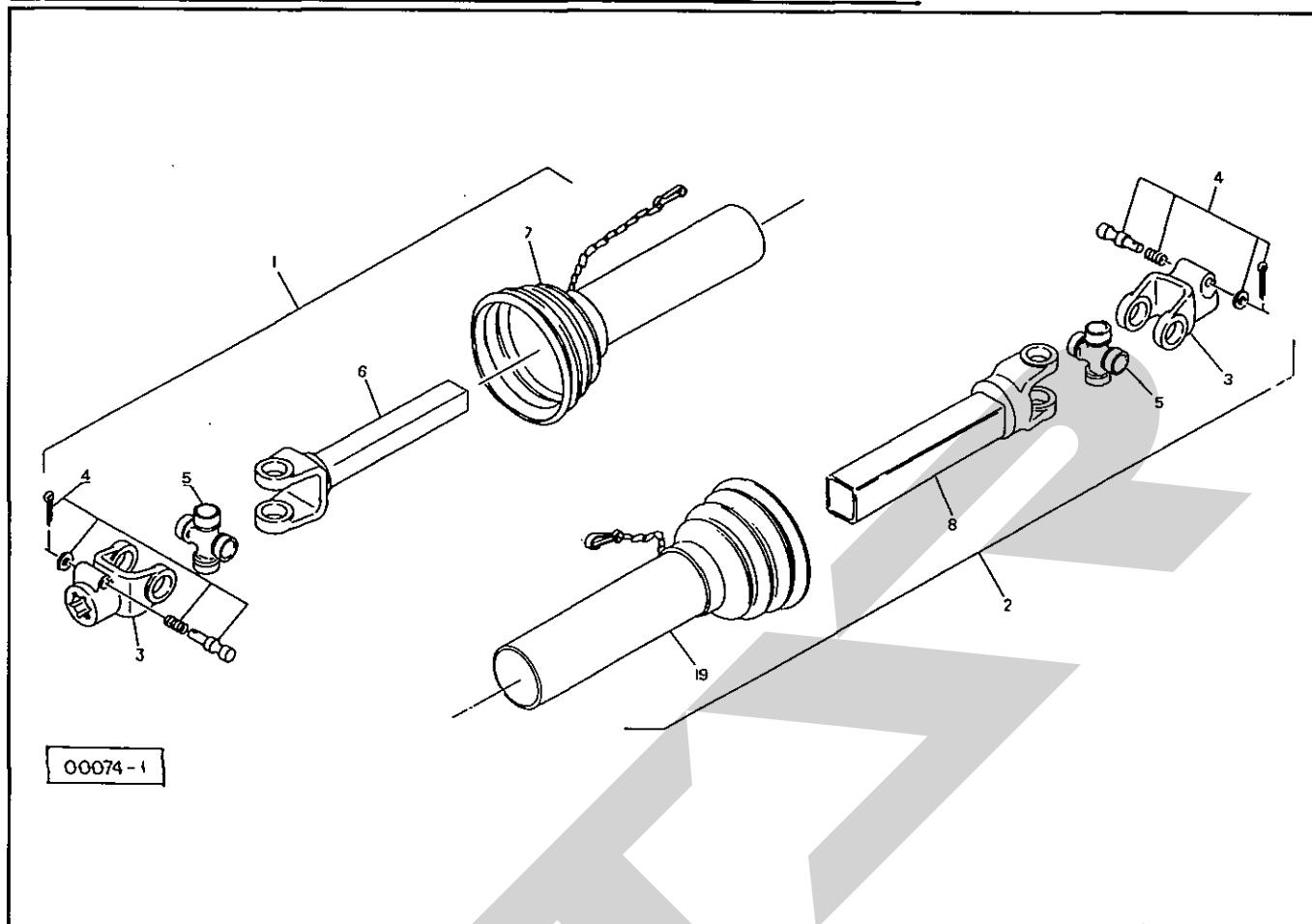
TMB 1030・1530・1830・1040・1540・1840・1550

コンベヤ



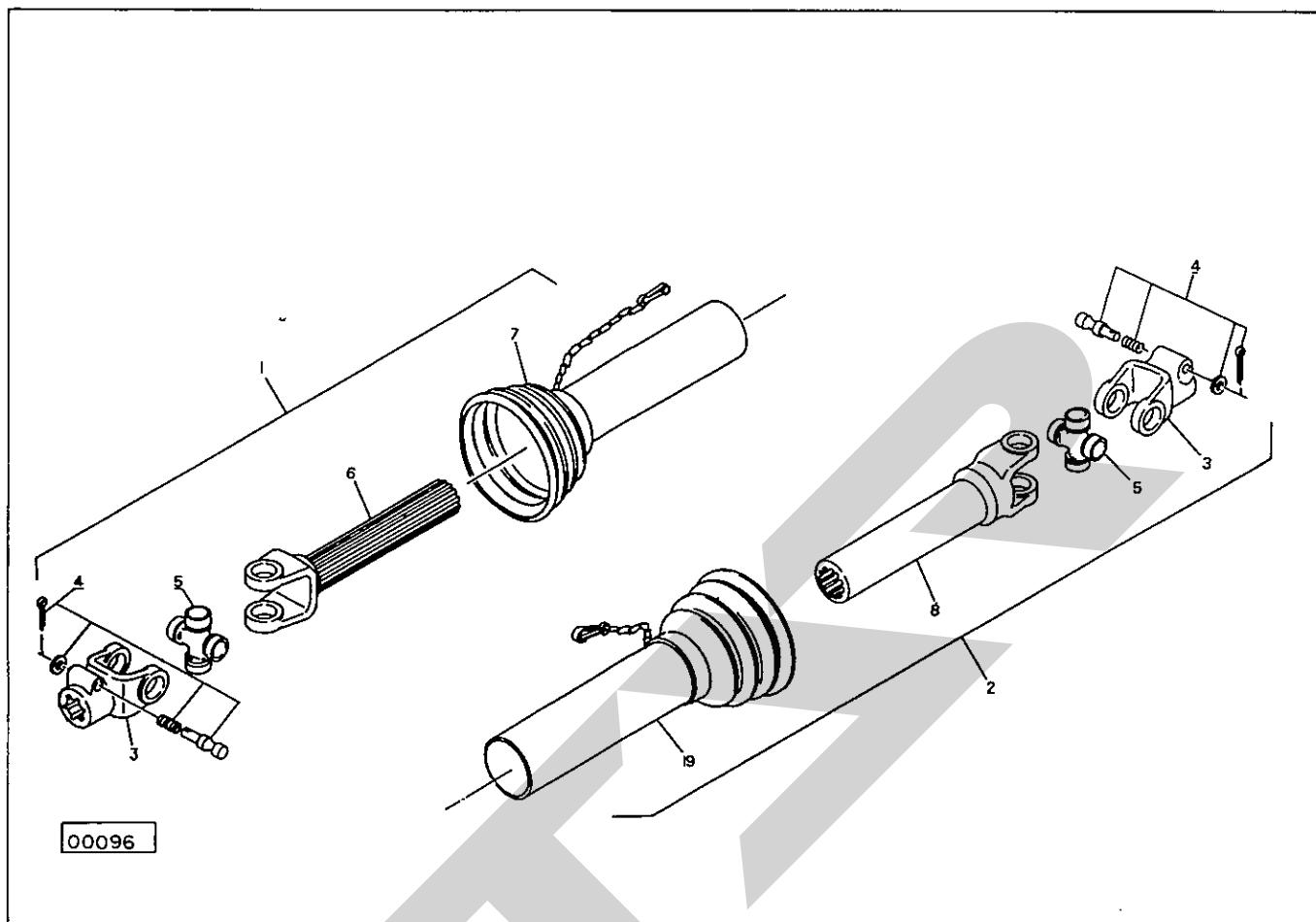
見出番号	部品番号	部品名名称	個数	見出番号	部品番号	部品名名称	個数
1	102613	コンベヤシャフト	1	22	84839	デタッチャブルチェーン;5000 TMB 1030、1040	110
2	99560	カラー;Φ35.7×67	2		84839	デタッチャブルチェーン;5000 TMB 1530、1540	134
3	84834	スプロケット;5T ④付	2		84839	デタッチャブルチェーン;5000 TMB 1830、1840	160
4	ONBS 6	グリースニップル;B M6×1F	4	23	84840	デタッチャブルチェーン;5000-L TMB 1030、1040	11
5	60036	ボルト;M14×385	2		84840	デタッチャブルチェーン;5000-L TMB 1530、1540	14
6	26970	ワッシャ;14	4		84840	デタッチャブルチェーン;5000-L TMB 1830、1840	16
7	57045	スプリング;Φ22×88	2	24	84841	デタッチャブルチェーン;5000-R TMB 1030、1040	11
					84841	デタッチャブルチェーン;5000-R TMB 1530、1540	14
					84841	デタッチャブルチェーン;5000-R TMB 1830、1840	16
10	95182	コマ	2				
11	92761	コンベヤシャフト	1				
12	KFC 1008050	平行キー(両丸);10×8×50	2				
13	84843	スプロケット;5T ④付	2				
14	MD0812	ロッカクアナトメネジ;M8×12	4				
15	84844	ジクウケ;S ④付	2				
16	DHC 72	スナップリング;H72	2				
17	J 6207 LLU	ペアリング;6207 LLU	2				
18	92762	カラー;Φ35.7×49	2				
19	BZ 1235 AG	ボルト;M 12×35 (8.8)	4				
20	60039	コンベヤバー TMB 1030、1040	11				
	60039	コンベヤバー TMB 1530、1540、1550	14				
	60039	コンベヤバー TMB 1830、1840	16				
21	BZ 1025 AG	ボルト;M 10×25 (8.8) TMB 1030、1040	22				
	BZ 1025 AG	ボルト;M 10×25 (8.8) TMB 1530、1540	28				
	BZ 1025 AG	ボルト;M 10×25 (8.8) TMB 1830、1840	32				

SG-040・SG-070
パワージョイント



85979

パワージョイント







本 社 066 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070 旭川市神楽4条9丁目3番31号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富出張所 098-41 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-24 帯広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見出張所 090 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-11 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-03 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985 宮城県多賀城市町前2丁目87番地
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小山営業所 307-02 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-01 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

岡山営業所 700 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862 熊本県熊本市長嶺町2255-429
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644